

【ご参考資料】

2016年6月9日

野村アセットマネジメント株式会社

「グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2016-06(限定追加型)
 <愛称>グローバルメジャーズ16-06」の足元の投資環境について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2016-06(限定追加型)<愛称>グローバルメジャーズ16-06」(以下、ファンドといいます。)の足元の投資環境についてお知らせいたします。

参考ポートフォリオの特性値(2016年5月31日現在)

◎「参考ポートフォリオ」とは、これから運用を開始するファンドのイメージをつかんで頂くための、仮のポートフォリオのことです。「参考ポートフォリオ」に関する情報は、2016年5月31日現在の市場環境等に基づいて作成したものであり、売買実行可能性や売買手数料、税金等の諸費用は考慮していません。また、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。ポートフォリオ特性値は運用担当者の判断、市況動向、ファンドの資金動向等により変わります。

最終利回り※1(%)	3.5
直利(%)	4.5
デュレーション※1(年)	2.9
銘柄数	30
(ご参考)為替ヘッジコスト※2(%) (2016年5月31日時点)	0.22

※1 最終利回りとデュレーションは、野村アセットマネジメントが想定する償還日等をもとに計算しています。
 ※2 為替ヘッジコストは、各通貨の3カ月フォワードレートから算出した対円為替ヘッジコスト/プレミアムの概算値(年率換算)を参考ポートフォリオの通貨別構成比率で加重平均したものです。

コーポレート・ハイブリッド証券のパフォーマンス推移(期間:2015年11月30日~2016年5月31日、日次)



コーポレート・ハイブリッド証券: BofA・メルリンチ・グローバル・ハイブリッド非金融コーポレート・インデックスおよびBofA・メルリンチ・グローバル・ハイブリッド非金融ハイ・イールド・インデックスを使用して、時価総額での加重平均により算出。

(出所) Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、ハイブリッド証券・債券等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

Q. コーポレート・ハイブリッド証券市場の投資環境について教えてください。

A. 良好な市場環境の中、新規調達動きにも盛り上がりの兆しが見られます。

2015年後半以降のコーポレート・ハイブリッド証券市場は、原油価格の下落や世界的な景気減速懸念を背景に、リスク資産を回避する動きが広がり、下落基調で推移しました。しかし、2016年2月中旬以降は、原油価格や株式市場の反発に伴う投資家心理の改善などを背景に、コーポレート・ハイブリッド証券市場も上昇に転じました。さらに、3月にはECB(欧州中央銀行)が社債購入プログラムの導入や月間の資産購入額拡大などを含む追加金融緩和策を導入したことなどから、コーポレート・ハイブリッド証券市場は上昇しました。

欧州では、マイナス金利政策をはじめとするECBの強力な金融緩和を受けて、債券全般の利回り水準低下が進んでおり、相対的に高い利回りを求める投資家にコーポレート・ハイブリッド証券は魅力的な投資機会を提供していると考えられます。また、コーポレート・ハイブリッド証券はECBが6月から開始する社債購入プログラムの対象とはならないものの、当プログラムの開始により欧州社債市場全般の良好な需給環境が続けば、コーポレート・ハイブリッド証券市場にも好影響が波及するものと期待されます。

こうした良好な環境の中、コーポレート・ハイブリッド証券の新規調達にも盛り上がりの兆しが見られます。例えば、5月に発行されたフランスの総合石油企業であるトタルのコーポレート・ハイブリッド証券には、17.5億ユーロの発行額に対し、発行額を上回る買い注文が見られ、コーポレート・ハイブリッド証券への需要の高さを示す結果となりました。足元の低金利や原油価格の安定化を背景に、大手エネルギー関連企業であるトタルが大きな調達を行なったことで、今後もコーポレート・ハイブリッド証券による新規調達が続くとの見方もあります。日本でも同様に、マイナス金利環境による投資家ニーズの高まりを背景に、大手商社やリース会社がコーポレート・ハイブリッド証券など資本性の負債による資金調達を行なう例が見られます。

主な新規発行銘柄のご紹介

発行日	銘柄名	調達額	格付	クーポン	初回コール日	償還日
2016/3/1	OVPH LTD	12億米ドル	BBB	5.875%	2021/3/1	永久債
2016/3/17	AUSNET SERVICES	3.75億米ドル	BBB	5.750%	2021/9/17	2076/3/17
2016/5/18	TOTAL	17.5億ユーロ	A	3.875%	2022/5/18	永久債

上記は、「コーポレート・ハイブリッド証券の発行体例」の紹介を目的としており、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。また、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

(注)格付はS&P、Moody's、Fitchのうち最も高いものを記載しており、表記はS&Pの表記を使用しています。

(出所)Bloombergデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、ハイブリッド証券・債券等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

Q. 昨年、米国の保険セクターの銘柄で、コールが見送られたケースがありました。欧州の保険セクターは、
 どうでしょうか？

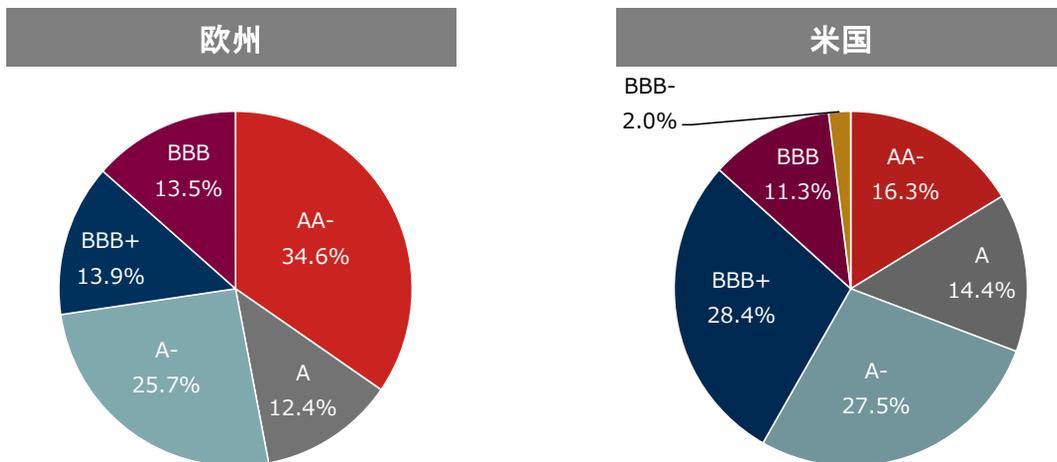
A. 欧州保険セクターは相対的に信用力が高く、米国のケースと同様のリスクは限定的と考えられます。

昨年末、米国の保険会社の期限付劣後債においてコールスキップ※の事例が発生しました。これにより、一部の米国保険会社が発行するコーポレート・ハイブリッド証券についても懸念が高まりました。背景には、昨年来の原油価格下落等に伴ない信用力が相対的に低い発行体のスプレッド(上乗せ金利)が拡大したことにより、発行体企業がコーポレート・ハイブリッド証券をコール(繰上償還)して、不利な金利水準で再調達するよりも、コールを延期して既存のコーポレート・ハイブリッド証券を維持する方が資金調達コストが低くなることと判断したことなどがあります。

コーポレート・ハイブリッド証券のコールスキップの可能性を評価するにあたっては、個別証券の発行条件なども影響するものの、最も重要な要因は発行体の信用力であると考えられます。こうした観点から欧州と米国の保険会社の格付を比較すると、一般的に欧州の方が信用力が高く、コールスキップリスクへの耐性があると考えられます。そのため、欧州保険セクターについては、米国のケースと同様のリスクは相対的に小さいと見ています。

※発行体が繰上償還を見送ること。それにより、元本返済の不確実性が高まると考えられています。

欧米保険会社シニア債の証券格付別構成比率(2016年4月末時点)



*四捨五入により、合計が100%とならない場合があります。

(注) 格付はBank of America Merrill Lynchが定めるコンポジットレーティングを使用。表記はS&Pの表記を使用しています。
 (出所) Bank of America Merrill Lynchのデータより野村アセットマネジメント作成

今後とも「グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2016-06(限定追加型)
 <愛称>グローバルメジャーズ16-06」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

以上

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。
 ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、ハイブリッド証券・債券等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ファンドの特色



1 世界各国の企業(金融機関を含みます。)が発行する期限付劣後債、永久劣後債、優先証券(「ハイブリッド証券」といいます。)および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

※ 当ファンドにおいて、「劣後債」とは、弁済順位が発行体の一般債務に劣後することとなる債券をいい、償還期限の定めがあるものを「期限付劣後債」、償還期限の定めがないものを「永久劣後債」とします。また、弁済順位が劣後債に劣後し、普通株式に優先するものを「優先証券」とします。

- ◆ ポートフォリオの構築にあたっては、ハイブリッド証券の中から、ファンドの信託期間内に満期償還日または繰上償還可能日を迎えるハイブリッド証券を中心に、利回り水準や信用力、残存期間等を考慮して投資対象銘柄の選定を行なうことを基本とします。
- ◆ 投資するハイブリッド証券は、取得時においてBB格相当以上の格付(格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)を有するものとし、ポートフォリオ構築完了時点における組入銘柄の平均格付はBBB格相当以上とすることを基本とします。
- ◆ 組入れたハイブリッド証券のうち、原則として、信託期間内に満期償還日または繰上償還日を迎えるハイブリッド証券については当該日まで持ち切り、信託終了日後に満期償還日または繰上償還日を迎えるハイブリッド証券については信託終了日前に売却することを基本とします。
- ◆ 投資したハイブリッド証券が償還された場合には、その償還金をもって、流動性や当ファンドの残存信託期間、為替ヘッジコスト等を勘案し、他のハイブリッド証券あるいは日本を含む先進国の公社債へ投資します。投資する公社債は、取得時において、BBB格相当以上の格付(格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)を有するものとし、日本を含む先進国の国債については、格付に関わらず投資を行なえるものとします。

※ 格付は、S&PおよびMoody'sの両者の格付が付与されている場合、いずれか高い方を基準とします。

2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

3 運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

4 原則、毎年4月および10月の15日※(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

※ 初回は平成28年10月17日となります。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

*委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

＜当資料で使用した市場指数について＞

●BofA・メリルリンチ・グローバル・ハイブリッド非金融コーポレート・インデックス(BofA Merrill Lynch Global Hybrid Non-Financial Corporate Index)、BofA・メリルリンチ・グローバル・ハイブリッド非金融ハイ・イールド・インデックス(BofA Merrill Lynch Global Hybrid Non-Financial High Yield Index)に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。

当ファンドの投資リスク

ファンドのリスクは下記に限定されません。

ファンドは、ハイブリッド証券および債券等に投資しますので、市場金利や発行体の信用度の変動によるハイブリッド証券および債券の価格下落等により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

■ハイブリッド証券の価格変動リスク

ハイブリッド証券は、市場金利や発行体の信用度の変動により価格が変動します。特に、ハイブリッド証券は、一般的に、普通社債と比べて低い信用格付が付与されているため、価格変動の度合いがさらに大きくなる可能性があります。ファンドはハイブリッド証券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。

■ハイブリッド証券の流動性リスク

ハイブリッド証券は、一般的に、普通社債と比べて相対的に市場における流動性が低いと考えられています。また、発行体の信用度や市況動向が悪化した場合等には、さらに流動性が低くなることもあります。そのような場合には、希望する時期、価格で売買できず、結果としてファンドの基準価額が下落する可能性があります。

■ハイブリッド証券の繰上償還に関するリスク

一般的に、ハイブリッド証券には繰上償還条項が設定されていますが、発行体の企業業績、市況動向、制度変更等の事情により、繰上償還の実施やその時期が変動する場合があります。この場合、あるいはこういった状況が予想される場合には、当該証券の価格が変動する可能性があり、基準価額にも影響を及ぼす可能性があります。

■債券価格変動リスク

債券(公社債等)は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。

■為替変動リスク

ファンドは、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。また、円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかるため、基準価額の変動要因となります。

*基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

◆ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

- 資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- 有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。
- ファンドが組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。また、ハイブリッド証券には利息、配当や分配の支払いを繰り延べる条項が付与されているものがあり、発行体の企業業績等の事情により繰り延べられたり、停止される可能性があります。
- ハイブリッド証券の弁済順位は、一般的に普通株式に優位し普通社債に劣後するため、発行体の破綻時における弁済順位が普通社債等優先される債務に対して後順位となります。
- 設定時における市況動向等によっては、ハイブリッド証券の組入れに時間を要する場合があります。また、ハイブリッド証券の流動性の極端な減少等により、当該ハイブリッド証券の売却や売却代金の入金が遅延したとき等は、一部解約金の支払いならびに償還金の支払いを延期する場合があります。
- ハイブリッド証券には、設定された繰上償還が実施されなかった場合に利息、配当や分配が変動になる性質を持つもの等があり、ファンドはそれらにも投資を行ないます。
- 今後、ハイブリッド証券市場において制度変更や新たな規制の導入がある場合には、対象市場が著しく縮小する可能性があり、結果、運用方針に沿った運用ができなくなる場合があります。
- 金融商品取引所等における取引の停止(個別銘柄の売買停止等を含みます。)、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情(流動性の極端な減少等)があるときは、投資信託約款の規定に従い、委託会社の判断でファンドの購入・換金の各受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金の各受け付けを取り消す場合があります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2016-06(限定追加型)
 <愛称>グローバルメジャーズ16-06

お申込みメモ

● 信託期間	平成32年4月15日まで(平成28年6月13日設定)	
● 決算日および収益分配	年2回の毎決算時(原則、4月および10月の15日(休業日の場合は翌営業日))に分配の方針に基づき分配します。 *初回決算日は、平成28年10月17日となります。	
ご購入時	<当初申込期間(平成28年4月21日から平成28年6月10日まで)>	
	● ご購入価額	1万口=1万円
	*ご購入代金は平成28年6月10日までに販売会社にお支払いいただきます。	
	<継続申込期間(平成28年6月13日から平成28年7月15日まで)>	
	● ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
ご換金時	● ご購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
	● ご購入単位	ご購入単位は、販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
	● ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
その他	● ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して5営業日目から、販売会社でお支払いします。
	● ご換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。
● お申込不可日	販売会社の営業日であっても、お申込日当日が、以下のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金の各お申込みができません。 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行	
課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。	

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに係る費用

(2016年4月現在)

● ご購入時手数料	ご購入価額に 2.16%(税抜2.0%)以内 で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
● 運用管理費用(信託報酬)	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 純資産総額に 年1.35%(税抜年1.25%) の率を乗じて得た額
● その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。(運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。) ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・外貨建資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ファンドに関する租税 等
● 信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に 0.4% の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

◆ 設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、ハイブリッド証券・債券等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2016-06(限定追加型)
愛称:グローバルメジャーズ16-06

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第579号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。